



はぐくみネットとは⇒子どもたちの健やかな成長を願い、学校・保護者地域が手を取り合って生きる力をはぐくむネットワークです。

小林小学校 創立40周年 お祝いの会



平成25年11月30日(土) 小林小学校講堂にて、学校創立40周年お祝いの会が行われました。当日は、38人ものご来賓をお招きして、一年生から六年生まで全児童と教職員と保護者が一堂に会してお祝いしました。校長先生の挨拶、PTA会長の挨拶に続いて、西風社会福祉協議会会長からお祝いの言葉をいただきました。続いて、児童会代表8名が舞台上に立ち、「喜びの言葉」を呼びかけの形式で発表しました。舞台正面に設けられたスクリーンには小林小学校の様子がスライドで映し出され、厳粛な中にも和やかなお祝いの会となりました。校庭には



学校の樹木が創立40周年をお祝いするように鮮やかに紅葉した姿を見せていました。お祝いの会の後、創立40周年記念「音読発表会」が同じ講堂で行われました。子ども達の音読の音が会場にあふれていました。天気にも恵まれ、心に残る一日となりました。

平成25年4月に着任いたしました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。小林地域の皆様には、地域行事、見守り活動等、さまざまなところで、本校児童がお世話に



あたたかい「はぐくみ」に感謝
小林小学校 校長 角江 繁美

なっております。本当にありがとうございます。さて、この「はぐくみネット しばやし」に使われております「はぐくみ」「はぐくむ」という言葉には、「教える」「育てる」とは、少しちがった響きがあるように思います。地域の方々が、陰に日向に、またある時は優しく、ある時は厳しく、子ども達のことを気にかけて、声をかけ、手をかけてく

ださる様子が、まさに「はぐくみ」「はぐくむ」の言葉にあたるのではと感じております。近年、社会の変化、家族のあり様の多様化とともに、これまで以上に、家庭、地域そして学校をつないでの、子ども達を「はぐくむ」ネットワークの必要性が増してきています。子ども達を丸ごと、ありのままに、見守り、受け入れ、「はぐくんで」くださっている小林地域のあたたかい「はぐくみ」に感謝の気持ちでいっぱいです。

災害に高い意識をもって、命をつなぐ町づくりを！

第3回 小林連合地域防災訓練

第3回小林連合地域防災訓練を12月1日に実施致しました。今回は「安否確認」「反復」をテーマに掲げました。

安否確認と一言で申ししましても、地域の皆様の協力なしではできません。そこで、実施日までに各町会で班長を対象に説明会を開き、共通理解に努めました。

訓練当日は前回同様に消防車のサイレンを合図に開始しました。各家庭の戸口に「大丈夫です」のプレートをつけ、近隣の安否確認をしながら避難場所集合しました。(プレートには少しでも目立つよう「リボン」をくくりつけました。)

訓練内容は、第1回から行っ



● 町会ごとに各訓練をしました



● 可搬式ポンプで送水・放水を体験

ている「炊き出し・消火活動・救護活動等」です。繰り返し地域の皆様に参加頂いていることで、高い意識のもと、効率的に訓練を進めていくことができました。主催者側としまして、日々のご協力に深く感謝する一日となりました。

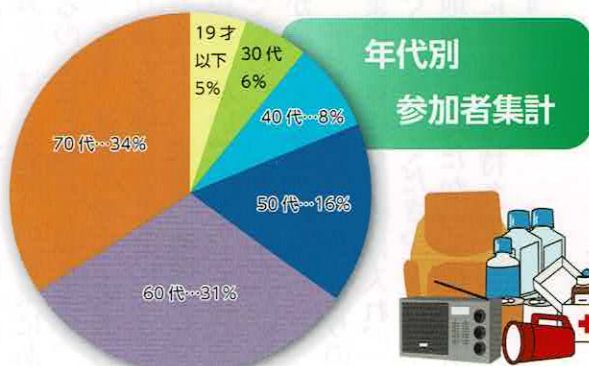
小林地域の防災訓練には、高齢者のご参加が多くあり、だからこそ頂ける意見や改善策があり、若者のご参加があるからこそ守れる命があります。そして、回数を重ねることに増していく「安全」に対する意識の向上があります。

皆様から貴重なご意見をたくさんいただき、このアンケートをもとに次回に向けて検討を重ね、これからも地域の皆様と共に多くの命をつなげるまちづくりを目指して参ります。

小林地域まちづくり実行委員会
西垣清次

アンケートの中から抜粋

- ・サイレンの音量を上げて下さい。
- ・緊急性が感じられなかったので、もう少し工夫してほしい。
- ・受付が手こずり時間がかかった。
- ・もう少し段取りが良ければ良かった。
- ・マイクの音量が小さく何を言っているか分かりにくかった。
- ・体が悪く動けなくても、出てくる事が大切だと思いました。
- ・訓練者がもっときびきびとするように。
- ・若い方の参加が少ないようです。
- ・年配の方を誘導する訓練を考えてほしい。



↓ 消火活動のバケツリレー訓練

↑ 壊れた家屋の下敷になった方を救出